

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・現代の国語	1年	2	高等学校 現代の国語 (教研出版)	教科書、準拠ワーク、国語便覧
科目的概要と目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	対比の構造	・論理的ということ	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。
		・水の東西	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。
		・ポスト・プライバシー	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。
		・コミュニケーションの手段を考える ・目的に合わせて表現を工夫する ・資料を分析して考えをまとめる ・根拠の妥当性を説明する	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。
	実用的文章1～4	・ものとことば	・評論の構成や論の展開に注意して叙述の内容をたどり、筆者の考え方を理解する。
		・政治的思考 ・未来をはじめる	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。
	比較する		

# 富山県立大門高等学校

	視野を広げる 実用の文章 5、6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学コミュニケーション</li> <li>・文章の構成を工夫して提案する</li> <li>・課題を発見し解決策を発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考え方に対する自分の意見を、具体例とともに説明することができます。</li> <li>・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。</li> <li>・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。</li> </ul>
3	<p>書き言葉の技術</p> <p>視野を広げる 言語技術の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章トレーニング 1～5</li> <li>・他者を理解するということ</li> <li>・レポート</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み解した内容を的確にまとめたり、自分の意見を明確に主張したりするための工夫を学び、実践することができる。</li> <li>・文章の論理展開をつかみ、筆者の主張をよみとることができます。</li> <li>・出典を明示して文章や図表などを引用し、レポート書くことができる。</li> <li>・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	定期考查・レポート・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・レポート・提出課題
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・言語文化	1年	3	高等学校 言語文化	教科書、準拠ワーク、国語便覧
科目の概要と目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	古文の世界を楽しむ	宇治拾遺物語（児のそら寝）	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。
	日本語の中に生きる漢文	入門一・二	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。
	故事と成語	漁夫之利、矛盾	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈することができる。
	受け継がれる古文 現代にも生きる教え	羅生門 徒然草（丹波に出雲といふ所あり）	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。
	詩歌の系譜	短歌・俳句	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。
	和歌による心の交流	伊勢物語（筒井筒）	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。
2	読み継がれる歴史	十八史略（鷄口牛後）	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。
	平安宮廷文学の世界	枕草子（雪のいと高う降りたるを）	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。
	受け継がれる漢文	山月記	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。
	漢詩の言葉	漢詩	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。
3	論説の文章	雑説	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。
	「論語とその注釈」（探究の扉論語の注釈）	論語	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈することができる。
	戦乱下の人間像	平家物語（木曾の最期）	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。

評価方法	知識・技能	定期考查・レポート・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・レポート・提出課題
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・地理総合	1年	2	高等学校 新地理総合	CONNECT地理総合(第一) 新地理総合ノート(帝国)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地理情報システムなどを用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。</li> <li>地理的事象を多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向けて構想する。</li> <li>我が国および他国の国土や歴史、文化を尊重することの大切さについて自覚する。</li> </ul>			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類 第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界 第2部 國際理解と國際協力 第1章 生活文化の多様性と國際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時差と私たちの生活</li> <li>・地球儀と地図</li> <li>・身の回りの地図</li> <li>・統計地図の種類と利用</li> <li>・地理情報システムの活用</li> <li>・さまざまな交通網の発達</li> <li>・世界を結ぶ通信網の発達</li> <li>・観光のグローバル化</li> <li>・大陸形と人々の生活</li> <li>・小地形と土地利用</li> <li>・世界の植生と気候区分</li> <li>・オセアニアの生活文化</li> <li>・東南アジアとモンスターの影響</li> <li>・イスラームの生活文化</li> <li>・南アジアの生活文化</li> <li>・ラテンアメリカと歴史</li> <li>・アフリカの生活文化に残る旧宗主国の影響</li> <li>・国家体制の変化がロシアに与えた影響</li> <li>・北アメリカと産業</li> <li>・東アジアの経済成長</li> <li>・EU統合と人々の生活</li> <li>・多様な地球環境問題</li> <li>・世界のエネルギー・鉱産資源</li> <li>・人口問題・食糧問題への取り組み</li> <li>・都市・居住問題への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読み方などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。</li> <li>現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</li> <li>②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>④現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読み方などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。</li> <li>⑤現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>⑥現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>⑦世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えてたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</li> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</li> </ul>
2	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球的環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食糧問題 6節 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラテンアメリカと歴史</li> <li>・アフリカの生活文化に残る旧宗主国の影響</li> <li>・国家体制の変化がロシアに与えた影響</li> <li>・北アメリカと産業</li> <li>・東アジアの経済成長</li> <li>・EU統合と人々の生活</li> <li>・多様な地球環境問題</li> <li>・世界のエネルギー・鉱産資源</li> <li>・人口問題・食糧問題への取り組み</li> <li>・都市・居住問題への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>②生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>③世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</li> <li>世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</li> <li>④世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の傾向性や持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>⑤地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>
3	第3部 持続可能な地球づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然灾害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形と気候</li> <li>・地震・津波による災害</li> <li>・被災地の取り組み</li> <li>・ハザードマップの見方</li> <li>・火山の恵みと災害</li> <li>・火山と共生する地域</li> <li>・気象災害への取り組み</li> <li>・減災の取り組み</li> <li>・被災地への支援</li> <li>・災害発生時の行動計画</li> <li>・新旧地形図の比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</li> <li>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</li> <li>②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	定期考查・実験レポート・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・実験レポート・提出課題
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・歴史総合	1年	2	明解歴史総合 (帝国書院)	新詳歴史総合 (浜島書店) 明解歴史総合ノート (帝国書院) 郷土史補助教材「ふるさと富山」
科目的概要と目標	近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を修得し、現代的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を考察、構想する科目である。グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1部 歴史と私たち  第2部 近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の特質資料に触れる</li> <li>・歴史叙述とは何か</li>   <li>①近代化への問い</li> <li>②江戸時代の日本と結び付く世界</li> <li>③欧米諸国における近代化</li> <li>④近代化の進展と国民国家形成</li> <li>⑤アジア諸国の動揺と日本の開国</li> <li>⑥近代化が進む日本と東アジア</li> <li>⑦現代的課題とつなげて考察する</li> </ul>	<p>身近な物の歴史をたどってみる。例えば富山における「薬」について国内や世界とのつながりについて資料を活用して知る。</p> <p>【第2部①～⑥について】</p> <p>近代化の経緯について正しく理解できる。</p> <p>近代化の経緯について史料を活用して自分の言葉で説明できる。</p> <p>【第2部⑦について】</p> <p>諸課題に対して知識や史料を用いて自分なりの解決策を表現できる。</p>
2	第3部 国際秩序の変化 や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国際秩序の変化大衆化への問い合わせ</li> <li>②第一次世界大戦と日本の対応</li> <li>③国際協調と大衆社会の広がり</li> <li>④日本の行方と第二次世界大戦</li> <li>⑤再出発する世界と日本</li> <li>⑥現代的課題とつなげて考察する</li> </ul>	<p>【第3部①～⑤について】</p> <p>国際秩序の変化や大衆化について正しく理解できる。</p> <p>国際秩序の変化や大衆化について史料を活用して自分の言葉で説明できる。</p> <p>【第3部⑥について】</p> <p>これまで学んできた知識や史料を活用しながら自分なりの見解を表現できる。</p>
3	第4部 グローバル化と 私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グローバル化への問い合わせ</li> <li>②冷戦で揺れる世界と日本</li> <li>③多極化する世界</li> <li>④グローバル化の中の世界と日本</li> <li>⑤現代的課題とつなげて考察する</li> </ul>	<p>【第4部①～④について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化について正しく理解できる。</li> <li>・グローバル化における諸問題について史料を活用して自分の言葉で説明できる。</li> </ul> <p>【第4部⑤について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定した問い合わせに対してこれまで身に付けた知識を活用して探究学習に取り組むことができる。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	定期考查・授業振り返りシート・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・授業振り返りシート・提出課題レポート
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題レポート（長期休業中含む）・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学Ⅰ 数学Ⅱ	1年	3 1	改訂版 高等学校 数学Ⅰ(Ⅱ) (数研出版)	チャート式 改訂版 解法と演習 数学Ⅰ(Ⅱ) (数研出 版) 改訂版 4 プロセス 数学Ⅰ (Ⅱ) (数研出版)
科目的概要と目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	<b>【 数学Ⅰ 】</b> <b>第1章 数と式</b> <b>第1節 式の計算</b>  <b>第2節 実数</b>  <b>第3節 1次不等式</b>  <b>第2章 集合と命題</b>  <b>第3章 2次関数</b> <b>第1節 2次関数とグラフ</b>  <b>第2節 2次関数の値の変化</b>	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解 実数 根号を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 集合 命題と条件 命題と証明	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できる。 また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できる。
2	<b>第3節 2次方程式と2次不等式</b>  <b>第4章 図形と計量</b> <b>第1節 三角比</b>  <b>第2節 三角形への応用</b>	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係 2次不等式  三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理・余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できる。

# 富山県立大門高等学校

	第5章 データの分析	データの整理 データの代表値 散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できる。
3	【 数学Ⅱ 】  第1章 式と証明 第1節 式と計算  第2節 等式・不等式の証明  第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	3次式の展開と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式とその計算 恒等式  等式、不等式の証明  複素数とその計算 2次方程式の解 解と係数の関係 剩余の定理と因数定理 高次方程式	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できる。また、等式や不等式が成り立つことを証明できる。  数の範囲を複素数まで広げる意味を理解し、複素数を含む計算ができるようになる。また、解と係数の関係を効果的に用いることで2次方程式の問題に応用したり、因数定理を使って高次方程式が解くことができる。
評価方法	知識・技能	定期考查・課題提出・課題テスト・小テスト・ノート	
	思考・判断・表現	定期考查・提出課題・課題テスト・小テスト	
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・ノート・授業態度	

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理基礎	1学年	2	新編 物理基礎 (教研出版)	ステップアップノート 物理基礎(啓林館)
科目的概要と目標	・中学校で学んだ基本的概念を発展させ、運動とエネルギー、熱、波、電気、物理学と社会の各分野について学習する。 ・物理の基本的概念や原理・法則を理解し、自然観を育成する。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1編 運動とエネルギー	第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則 第3章 仕事と力学的エネルギー	・物体の運動と力の関係を正しく把握する。 ・運動の3法則の中でも、特に運動方程式の考え方と利用方法を習得する。剛体における力のつり合いの条件式を立て、方程式を解くことができる。 ・仕事とエネルギーの概念を十分に理解し、仕事とエネルギーを関連づけて定量的な計算ができる。力学的エネルギー保存則について理解するとともに、その利用方法を習得し正確に数値計算を行うことができる。
2	第2編 热	第1章 热とエネルギー	・熱と温度の違いを把握し、熱量保存則を正しく利用できる。
	第3編 波	第1章 波の性質 第2章 音	・いろいろなエネルギーの変換と効率について理解する。 ・波の基本的な概念を確実に理解する。日常で見られる波の現象が何かを確認し、横波と縦波の違い、2つの波が重なったときに起こる現象について理解する。波の変位が、時間と位置の2つの変数で決定されることに留意する。 ・音が、これまで学んだ波としての諸性質を示すこと、弦や気柱の振動などの諸現象を理解する。
3	第4編 電気	第1章 物質と電気抵抗 第2章 磁場と交流	・電気の性質や電流と電気抵抗、エネルギーに関わる基本的な原理・法則を理解する。 ・磁場と交流を学ぶことによって、発電の仕組み等を理解する。併せて、電磁波の学習から通信の原理を理解する。
	第5編 物理学と社会	第1章 エネルギーの利用	・エネルギーの移り変わりや資源、発電との関連性を理解する。 ・摩擦力のコントロールの仕方やエネルギーの有効利用について理解する。

評価方法	知識・技能	定期考查・実験レポート・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・実験レポート・提出課題
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・生物基礎	1年	2	生物基礎(数研出版)	ESSENCE NOTE生物基礎(啓林館) サイエンスビュー(実教出版)
科目的概要と目標	生物学のミクロレベルからマクロレベルまでの基本的な概念や原理・法則を理解し、日常生活の中にある生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 生命活動とエネルギー 代謝とエネルギー、ATP 3. 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の複製と分配 3. 遺伝情報の発現	生物の多様性、生物の多様性・共通性とその由来 生命活動とエネルギー、ATP 呼吸、光合成 エネルギーの流れ、酵素 遺伝情報を含む物質DNAの構造 遺伝情報の複製、遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質、分化した細胞の遺伝子発現、遺伝情報と遺伝子、ゲノム	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や遺伝子について観察、実験などを通して探究し、生物は多様でありながら共通性をもっていることが理解できる。生物の共通性と起源の共有を関連付け、その共通性は共通の起源に由来することを理解する。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーと代謝について、光合成と呼吸を通して理解できる。</li> <li>DNAが塩基の相補性により二重らせん構造をもつこと、遺伝情報が塩基の配列に基づいていることが理解できる。</li> <li>DNAが遺伝情報を担い得る特徴をもつ物質であり、その複製、分配によって遺伝情報が伝えられ、その情報に基づいてタンパク質を合成することが理解できる。</li> </ul>
2	第3章 ヒトの体内環境の維持 1. 体内での情報の伝達と調節 2. 体内環境の維持の仕組み 3. 免疫のはたらき	体内での情報伝達 神経系、内分泌系による情報の伝達と調節 体内環境の維持 血糖濃度調節、血液の循環を維持するしくみ 自然免疫、適応免疫、免疫と病気	<ul style="list-style-type: none"> <li>体液の成分とその濃度調節、血液凝固、血糖濃度の調節機構について理解できる。</li> <li>体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わり、それにより体内環境が保たれていることを理解できる。</li> <li>免疫とそれにかかる細胞の働きについて理解できる。</li> </ul>
3	第4章 生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移 2. 植生の分布とバイオーム 3. 生態系と生物の多様性 4. 生態系のバランスと保全	植生の遷移 バイオームの成立 生態系の成り立ち 生態系のバランスと生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と生態系について観察、調査などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識する。</li> <li>生態系では、物質の循環とともにエネルギーの流れについても理解できる。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	定期考查・実験レポート・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・実験レポート・提出課題
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	1	3	現代高等保健体育	ステップアップ高校スポーツ 2022 現代高等保健体育ノート
科目的概要と目標	各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体調を整え体力の向上を図り、公正・協力・責任・参画などの態度を育て、生涯を通じて豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	体つくり運動 陸上競技 I	・オレンジーション ・集団行動 ・基礎体力づくり	・体育施設や授業の進め方、内容を知る。 ・集団の中で規律ある行動をとる態度を養う。 ・体育大会に備え、行進や体操を通じ、集団で協力し、自己の役割を考える意識を高める。 ・体つくり運動は、年間を通して適切な時期に、時数として10時間確保し実施する。 ・ランニングや体ほぐしや体つくり運動を中心にして体力の向上を図り、運動やスポーツの必要性を理解する。
		・長距離走	・学校周辺のランニングコースを走り、自分に妥協しない強い精神力を養う。
		・短距離走・リレー	・自己的能力を最大限に發揮し、走りきる力をつけるとともにバトンの受け渡しを通して、仲間と協力する態度を養う。
		・フォーカッソス ・バレーボール(男)	・フォーカッソスを通じてリスクミカルな動きを高める。 ・基本的なパスの技術を身に付け、相手コートに正確に入れられるようにする。
		・ソフトボール(女)	・グローブ、ボール、バット等の用具の扱いに慣れ、ボールが打てるようになる。 ・スポーツの文化的な内容とメリハリを理解する。
	ダブルス 球技 I A 体育理論	・スポーツ文化	・長距離走や体ほぐしや、体つくりを中心に、休暇中に低下した体力の早期回復を図る。
		・サキットトレーニング	・学校周辺のランニングコースを走り、自分に妥協しない強い精神力を養う。
		・長距離走	・ドリブルやパスなどの基本的なボール操作を身につけ、タイミング良くシュートを打つ。
		・サッカー(男)	・基本的なパスの技術を身に付け、相手コートに正確に入れられるようにする。
		・バレーボール(女)	・球技では、ルールと審判法を理解してゲームを楽しむ。
2	体つくり運動 陸上競技 II	・器械運動 I	・器械運動 I では、マット運動を取り扱い、基本的な技を習得する。
		・球技 I C	・選択種目のルールを理解するとともに、基礎となる技能、技術や基本動作を習得する。
		・武道 I	・武道 Iにおいては、相手を尊重し礼儀を重んじる姿勢を身に付ける。
		・ダンス I	・ダンス Iにおいては創作ダンスを取り扱い、作品を発表する。グループごとに表現したいテーマを考えイメージにあつた動きの探求をする。
		・スポーツ産業	・スポーツが経済に及ぼす影響を理解する。
	選択 I B 体育理論	・サキットトレーニング	・体ほぐしや体つくりを中心に行い、休暇中に低下した体力の早期回復を図る。
		球技(男女) ・バスケットボール ・バトミントン	・基礎、基本の技術を習得し、連携プレイでゲームが進められるようにする。
		・ドーピング	・役割に応じたシャトルの操作や安定したラケットの操作を習得する。 ・ルールと審判法を理解してゲームを楽しむ。 ・ドーピングとスポーツ倫理について学ぶ。

評価方法	知識・技能	レポート・実技テスト
	思考・判断・表現	活動シート・映像による動作分析・実技テスト
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	1年	1	現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート
科目の概要と目標	時代の流れの中で、健康自体のとらえ方や健康のために人や社会に望まれることも変化してきている。そのことをとらえ、現代の健康問題や新しい時代の健康のあり方などについて学習する。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	1 現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について理解する。</li> <li>・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて理解する。</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用が人体や周囲の人々へ与える影響について理解し、喫煙、飲酒、薬物乱用の対策について個人と社会に分けて例をあげて説明する。</li> </ul>
2	1 現代社会と健康	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復  15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防  18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて理解する。また、うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて理解する。</li> <li>・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて理解する。また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともにそれらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解する。</li> <li>・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて理解する。</li> </ul>
3	2 安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全  4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて理解する。</li> <li>・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり傷病者の苦痛を緩和したりすることについて理解する。</li> <li>・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人ひとりが適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であることを理解する。また、日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようになる。心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	定期考查・小テスト
	思考・判断・表現	定期考查・提出課題
	主体的に学習に取り組む態度	提出課題・授業ノート・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽Ⅰ	1学年	2	音楽Ⅰ Tutti+ (プラス)	音楽研究ノート
科目的概要と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。			

学期	題材	学習内容	到達度目標
1	・身近な音楽	「校歌」「優しいあの子」「夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表す。</li> <li>音色、音色、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持つ。</li> <li>身近な音楽に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</li> </ul>
	・器楽アンサンブル	キーボード・アンサンブル 「威風堂々」	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と楽器の音色や奏法及び音楽の構造について理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけ、器楽で表す。</li> <li>音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持つ。</li> <li>楽器の奏法を身につけることや楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動することに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。</li> <li>音楽の特徴と文化的背景を理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わう。</li> </ul>
	・楽典	「音名」「音程」「反復記号」「調号と臨時記号」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音名、音程に関する基礎的な知識・法則を理解する。</li> </ul>
2	・世界の歌、日本の歌	「Caro mio ben」(伊) 「Heidenröslein」(独) 「Yesterday」(英) 「この道」 「ふるさと」 「小さな空」	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表す。</li> <li>音色、音色、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持つ。</li> <li>歌詞の内容を理解し、曲にあった発声、フレーズを意識した表現の工夫をすることに关心をもち、音楽活動を主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</li> </ul>
	・テーブル・ミュージック(創作)	「Wind from the south」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。また、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な反復、変化、対照などの手法を活用して</li> </ul>

# 富山県立大門高等学校

			<p>音楽をつくる技能を身につけ、創作で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持つ。</li> <li>・ボディーカッショングで音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら、表現したいイメージをもって作曲・演奏するとに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</li> </ul> <p>・器 楽 (創作)</p> <p>ギター 「Scarborough Fair」 「Country Roads」 「Greensleeves」 トーンチャイム</p> <p>・樂 典</p> <p>「音階」「調号と調性」「音符と休符」</p>
3	・日本の伝統芸能	篠笛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と楽器の音色や奏法及び音楽の構造について理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表す。</li> <li>・音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身につけ、創作で表す。</li> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持つ。</li> <li>・楽器の音色や奏法に関心を持ち、音楽活動を主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。</li> </ul>
	・樂 典	「和音」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音階、音価に関する基礎的な知識・法則を理解する。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	筆記試験、ワークシート
	思考・判断・表現	実技試験、演奏、行動観察
	主体的に学習に取り組む態度	自己評価と相互評価、ノート、行動観察

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術Ⅰ	1年年	2単位	高校生の美術1(日文)	
科目的概要と目標	美術の学習を通して、感性や表現する力を高めるとともに、美術を愛好する心情を養う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	絵画 「油彩による静物画」	静物を油彩で、制作し油絵の特性や技法を理解する。 構図の基本を知る。 スケッチから構成ができる。 着彩（混色ができる） 表現方法を工夫して描ける。 鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆で画面構成して構図を決めることができる。</li> <li>・モチーフの配置を工夫しながら、空間と奥行きを感じさせる構図にすることができる。</li> <li>・油絵の具の基本的な使い方を理解し対象の材質感を表現することができる。</li> <li>・油絵の混色、重色の効果を考えて計画的に制作を進めることができる。</li> <li>・他の生徒の作品を鑑賞し、作者の心情、考えを読みとることができる。</li> </ul>
2	絵画 「油絵による自由表現」	油絵の特性を生かし、自由に自分の考えを表現する。 表現の方法を考え構図を決定できる。 下書きを何枚も描く。 色の混色の方法や自由な発想が表現とつながっている。 鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現する対象を工夫し、空間と奥行きを感じさせる構図を描ける。</li> <li>・油絵の混色、重色の効果を考えながら計画的に制作を進めることができる。</li> <li>・主題の表現にふさわしい用具や表現方法を見つけ出し工夫することができる。</li> <li>・意図や条件に応じた自由な発想を主体的に行い、独自の表現ができる。</li> </ul>
3	デザイン 「椅子のデザイン」	身の回りのものを見直し、椅子のデザインを美しく考えて作ることができる。 椅子の使いやすさをデザインしスケッチできる。 椅子の形態や機能を考えてスケッチできる。 椅子の作図をスケッチを元に描くことができる。 目的に合ったデザインができる。 発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しいものにはある一定の美的秩序があることに気づくことができる。</li> <li>・デザインの法則（バランス・ハーモニー・シンメトリーなど）を理解して、オリジナルの形や使いやすい椅子をデザインすることができる。</li> <li>・他の生徒の作品を鑑賞し、どのような美的秩序により構成されているか発見・理解することができる。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	表現力・構成力・色彩の仕組み
	思考・判断・表現	発想力・色彩の構成・デザインの法則
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・美しさを感じとれるかどうか

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道Ⅰ	1学年	2	書Ⅰ(教育図書)	
科目的概要と目標	書道の諸活動を通して、書写能力を高め、さらに芸術としての多様な書の美しさを鑑賞によって理解する。 その美しさを表現するための基礎的な力を身につける。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	書の美を求めて  楷書の学習	書写と書道の違い 文房四宝  楷書学習の基本 古典臨書課題 孔子廟堂碑 九成宮禮泉銘 雁塔聖教序 頭氏家廟碑 牛廻造像記 鄭羲下碑	<ul style="list-style-type: none"> <li>書の分野や用具・用材について理解し、表現のための学習方法を把握する。</li> <li>毛筆の基本的な用筆法を学ぶ。</li> </ul> <p>古くから名筆とされてきた作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、それぞれの特徴をとらえて書くことができる。</p>
	刻字の学習	表札制作 草稿 刻す 着色	<ul style="list-style-type: none"> <li>書の表現方法の一つとして創作する。</li> </ul>
	行書の学習	古典臨書2課題 蘭亭序 風信帖	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の特徴を知り、行書が芸術の書、実用の書の両方で広く用いられていることを理解する。</li> </ul>
	隸書の学習  仮名の書の学習	古典臨書 課題 曹全碑  仮名の変遷・鑑賞 基本用筆他 高野切第三種	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の用筆法に慣れ、変化と調和のバランスを学ぶ。</li> <li>仮名の歴史、小筆の扱い方、用筆などを理解する。</li> <li>変体仮名に关心を持ち、連綿による流動美を理解する。</li> </ul> <p>名筆を臨書することによって日本の伝統的な書の美を感じることができる。</p>
3	漢字仮名交じりの書の学習	創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の感性で受け止めた詩文などを題材に楽しく表現することができる。</li> <li>漢字と仮名の調和の重要性を確認し、そのための工夫について考えることができる。</li> <li>明確な制作意図を持って、主体的・意欲的に創作活動を行う。</li> </ul>

評価方法	知識・技能	・実技テスト・小テスト
	思考・判断・表現	・創作(作品制作)
	主体的に学習に取り組む態度	・授業態度

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
外国語・英語コミュニケーション I	1年	3	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I	
科目的概要と目標	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養います。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	Unit 1	学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。【受け身/不定詞/動名詞】	身のまわりや世界で起きている話題について、聞き手へ問いかけたり、理由や根拠を示すなどしたりしながら、情報や自分の考えなどを聞き手にわかりやすく話して伝える。
	Unit 2	機内誌の記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。【助動詞+受け身/現在完了進行形】	身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書く。
	Unit 3	Eメールのやり取りなどから、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。【分詞の形容詞用法/関係代名詞】	フォーマルなEメールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書く。
2	Unit 4	博物館のパンフレットなどから、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。【現在完了形受け身/過去完了形】	スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝える。
	Unit 5	ウェブの記事などから、自分が体験したことを見聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。【SVOC [分詞] /関係副詞how/助動詞の過去形】	スピーチの場面で、身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝える。
	Unit 6	オンライン百科事典の伝記などから優れたリーダーシップをもつ人物の経験を学ぶ。【分詞構文/関係副詞where [when/ why]】	ある人物について、時系列で書いたり、略歴を紹介したりしながら、関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書く。
3	(3学期より週3単位で英語コミュニケーションIIを実施)		

評価方法	知識・技能	定期考查・パフォーマンステスト・小テスト・提出課題
	思考・判断・表現	
	主体的に学習に取り組む態度	

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史B	2年 (文系選択)	3	日本史B (実教出版)	新詳日本史(浜島書店) ゼミナール日本史(浜島書店) 日本史重要語句Check List(啓隆社)
科目の概要と目標	・古代から近世までの日本の歴史の展開を、特に東アジアとの関係の中で理解させる。 ・各時代の政治・経済・社会・文化の特質を体系的に理解させるとともに、歴史的な見方や考え方を培う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	1章 日本文化のあけぼの 2章 稲作農耕の開始と社会生活の進展	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本最古の文化</li> <li>縄文時代の社会と文化</li> <li>弥生時代の社会と文化</li> <li>小国の分立と邪馬台国</li> <li>ヤマト政権の成立・発展と東アジア</li> <li>古墳の成立と発展</li> <li>大陸文化の攝取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縄文・弥生期の生活様式の変化を使用道具や文化的観点から比較・対比的に理解できる。</li> <li>統一国家形成の過程や中央集権体制確立の過程を国内の政治情勢や東アジア諸国との国際関係を踏まえて総合的に理解ができる。</li> </ul>
	3章 東アジア文化の影響と律令制度の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>推古朝の政治と飛鳥文化</li> <li>律令国家成立期の政治と文化</li> <li>律令体制とその実態</li> <li>天平文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>律令体制を基とする国家建設に至る政治の動向や国家体制の動搖・変遷の過程を理解できる。</li> <li>各文化の特徴と共通点・相違点を比較・対比的に理解できる。</li> </ul>
	4章 摂関政治と国風文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安初期の政治と文化</li> <li>摂関政治と地方の動向</li> <li>国風文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤原北家の台頭過程と摂関政治の出現による政治的・社会経済的影响を理解できる。</li> <li>弘仁貞觀文化、国風文化の特徴を理解できる。</li> </ul>
2	5章 中世社会の成立と文化の新機運	<ul style="list-style-type: none"> <li>荘園公領制の形成と武士団</li> <li>院政と平氏政権</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>荘園の構造と社会経済の変容を理解できる。</li> <li>武士台頭の背景と院政の出現による政治的変容の内容を理解できる。</li> <li>平安末期文化の特徴を理解できる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の成立</li> <li>武家政治の展開</li> <li>鎌倉武士と農村生活</li> <li>蒙古襲来と幕府の衰退</li> <li>鎌倉文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士政権の成立・発展の過程と、貨幣流通に伴う社会経済体制の変質の内容を理解できる。</li> <li>元寇によってもたらされた政治的・社会経済的影响を理解できる。</li> <li>鎌倉新佛教を中心に新文化の特徴を理解できる。</li> </ul>	
	6章 武家政治の展開と室町文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北朝の対立・室町幕府の成立過程、幕府体制の成立過程を体系的に理解できる。</li> </ul>	
3	7章 幕藩体制の展開と近世の文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>室町幕府の政治と外交</li> <li>惣村の発展と応仁の乱</li> <li>室町文化</li> <li>戦国大名の領国經營</li> <li>ヨーロッパ人の来航</li> <li>織豊政権</li> <li>桃山文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民衆の成長に伴う惣村の自立や産業経済・社会体制の発展を体系的に理解できる。</li> <li>日明貿易を中心に、東アジア地域における国際関係とその影響を理解できる。</li> <li>庶民台頭に伴う室町文化の特徴を理解できる。</li> <li>戦国期の展開と、ヨーロッパの新技術・新知識が日本にもたらした影響を理解できる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制の成立</li> <li>鎖国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳川幕府の成立過程と幕藩支配体制の性格や特徴、具体的な政策を理解できる。</li> <li>鎖国に至る経緯や鎖国による影響について理解できる。</li> </ul>
評価	<p>〈内容〉 日本史の基本的事項と歴史の流れを、総合的・多角的に整理・理解できたか。</p> <p>〈方法〉 授業態度、定期考査、本時の確認、課題の提出状況などを総合的に評価する。</p>		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理A	2年理情系 (選択)	2	高等学校新地理A(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	新詳地理資料 COMPLETE2022(帝国書院)
科目の概要と目標	現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	1部 世界の諸地域の姿と 地球的課題 1章 地球儀や地図からと らえる現代社会 2章 人間生活を取り巻く 環境	1節 地球上の位置と国家 2節 グローバル化が進む世界 1節 人々の生活と地形 2節 人々の生活と環境 3節 人々の生活と産業・文化	・地球上での位置や、緯度・経度の概念を習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。 ・経度の違いと時差についての基本的な事がらを理解し、それらの知識を身につけている。 ・人々の生活と地形との関係性についての基本的な事がらを理解し、その知識を身につけている。 ・世界の気候、産業、文化についての基本的な事がらを理解し、その知識を身につけている。
2	3章 世界の諸地域の生 活・文化	1節 中国の生活・文化 2節 韓国の生活・文化 3節 東南アジアの生活・文化 4節 南アジアの生活・文化 5節 中央アジア・西アジア・ 北アフリカの生活・文化 6節 サハラ砂漠以南のアフリ カの生活・文化 7節 ヨーロッパの生活・文化 8節 ロシアの生活・文化 9節 アングロアメリカの生 活・文化 10節 ラテンアメリカの生活・ 文化 11節 オーストラリアの生活・ 文化	・諸地域の歴史や文化について、日本との関 わりをふまえながら基本的な事がらや追究 の方法を理解し、その知識を身につけてい る。 ・諸地域の地形・気候などの基本的な事がら や追究の方法を理解し、その知識を身につけて いる。 ・諸地域の産業の特徴について、歴史的背景 や地形・気候と関連づけて考察するこ ができる。
3	4章 地球的課題と私た ち 2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざま な地図 2章 日本の自然環境と 防災 3章 身近な地域の課題 と地域調査	1節 複雑に絡み合う地球的課 題 2節 世界の環境問題 3節 世界の資源・エネルギー 問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食料問題 6節 世界の都市・居住問題 1 身近な地図とその特色 2 GISのしくみと支える技術 3 目的に合わせた地図の作成 1 日本の自然環境 2 地震被害と防災 3 火山災害と防災 4 風水害・雪害と防災 5 災害に備える 1 調査テーマの設定 2 現地調査の実施と分析 3 調査結果のまとめと発表	・地球的課題について、その背景に着目し、 基本的な事がらを理解し、その知識を身につ けている。 ・世界の資源・エネルギー問題、環境問題、 人口問題、食糧問題に対する关心を高め、そ れを意欲的に追究し、捉えようとしている。 ・身のまわりにあるさまざまな地図の用途に 応じた活用や、一般図と主題図の特色の違 いについて、基本的な事がらや追究の方法を理 解し、その知識を身につけている。 ・日本の自然環境の特徴と、起こりうる災害 について、地域性や日常生活との関連をふま えて多面的・多角的に考察し、その過程や結 果を適切に表現している。 ・身近な地域への関心と課題意識を高め、そ れを意欲的に追究し、捉えようとしている。
評価	地理的知識・情報に対して、単に事実を知っているということだけでなくそれぞれの背景や関 係性を捉え、「地理的思考力」「地理的観察力」「地理的分析力」が身に付いたかを授業への取り 組み、課題の提出、課題テスト、定期考査、外部テストを通じて総合的に評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理 B	2年文系 (選択)	3	新詳地理 B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	新詳地理資料 COMPLETE2022(帝国書院)
科目の概要と目標	現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第I部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図	1節 地図の発達 2節 地図の種類とその利用 3節 地理情報の地図化	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界地図における各時代の人々の世界観の変化や GPS や GIS など現代の地図のしくみと有用性を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>地球の球体としての特徴とこれを地図に表現した場合の長所短所を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>統計地図の表現方法やその長所短所を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>世界の大地形、小地形、その他の地形について、系統地理的に捉える視点や考察方法、人間生活との関わりなどを理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>
	第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境	1節 世界の地形	
2	2章 資源と産業	2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の気候、日本の地形と気候の特徴と自然災害の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、これに対する防災のあり方を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>世界の環境問題の概要と対策について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>自然環境との関わりやグローバル化の視点から、産業がどのように発達し変化しているかについて、その知識を身につけている。</li> <li>発展途上国、先進国、日本の食料事情の動向について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>
		1節 世界の農林水産業 2節 食料問題	
3		3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源やエネルギーの不均衡や石油情勢、エネルギーのあり方について、系統地理的に捉える考察方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>各工業や工業地域の特色、分布や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>商業やサービス業、観光業の特色や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>
評価	地理的知識・情報に対して、単に事実を知っているということだけでなくそれぞれの背景や関係性を捉え、「地理的思考力」「地理的観察力」「地理的分析力」が身に付いたかを授業への取り組み、課題の提出、課題テスト、定期考査、外部テストを通じて総合的に評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・現代社会	2年理情系	2	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	ニュービジョン現社 (浜島書店) 補助教材 ふるさと富山
科目的概要と目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野にたって、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方・生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1編私たちの生きる社会  第2編 第1章 現代に生きる青年 第2章 個人の尊厳と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義  ※郷土史	1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題 3 科学技術の発達と生命倫理 4 高度情報社会と私たちの生活 1 青年期の意義と自己形成の課題 2 現代社会における青年の生き方 3 伝統や文化と私たちの生活 1 民主政治における個人と国家 2 基本人権と法の支配 3 世界のおもな政治体制 1 日本国憲法の基本原理 2 平和主義と安全保障 3 基本人権の保障と新しい人権 4 国民主権と議会制民主主義 5 内閣と行政の民主化 ①戦後の民主化 ②高度経済成長と富山	・環境保全の重要性について理解できる。 ・資源の有限性について理解を深める。 ・科学技術の発達による社会・生活を理解する。 ・情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解できる。 ・青年期の意義・自己形成について理解できる。 ・青年としての生き方について理解できる。 ・私たちの伝統や文化について考察する。 ・生活と政治や国家のかかわりについて理解する。 ・具体的な事例をあげて考察し理解する。 ・世界のおもな政治体制について考察する。 ・日本国憲法の三つの基本原理について理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解する。 ・自由権・社会権・新しい人権を考察する。 ・国会の地位と構成、権限について理解する。 ・議院内閣制・行政の民主化について理解する。 ・戦後の民主化を理解する。 ・富山の高度経済成長を理解する。
2	第4章 国際政治の動向と日本の役割  第5章 現代の経済社会と私たちの生活  ※郷土史	6 裁判所と人権保障 7 地方自治と住民の福祉 8 世論形成と政治参加 1 国家主権と国際法 2 国際連合の役割 3 今日の国際社会 4 核兵器の廃絶と国際平和 5 地域紛争と人種・民族問題 6 国境と領土問題 7 外交政策と日本の役割 1 経済社会と経済体制 2 経済主体と企業の活動 3 市場経済のしくみ 4 経済成長と景気変動 5 政府の経済的役割と租税の意義 6 金融機関のはたらき 7 戦後の日本経済の動き 8 産業構造の変化 9 雇用と労働問題 10 公害の防止と環境保全 11 消費者保護と契約 12 社会保障と国民福祉 ③富山県の友好提携の動き ④富山県のブラジル移民	・裁判所の役割や裁判制度についてまとめる。 ・地方自治のもつ課題について具体的に考察する。 ・政党・選挙・世論の形成について理解する。 ・国際法の意義と役割について多面的に理解する。 ・国際連合の役割と課題についてまとめる。 ・戦後と冷戦終結前後の国際社会を理解する。 ・核兵器を廃絶するには何が必要かを考える。 ・人種・民族紛争の実態について理解する。 ・国境と領土問題について理解する。 ・国際社会における日本の役割を考える。 ・資本主義経済・社会主義経済の特徴を理解する。 ・経済主体と企業の活動について理解する。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・経済成長による生活の変化を考察する。 ・日本の財政・租税の課題を主体的に考える。 ・金融機関・日本銀行の役割について理解する。 ・高度経済成長やバブル経済の要因を理解する。 ・技術革新の進展による産業構造の変化を考える。 ・雇用事情の変化や労働環境を理解する。 ・公害防止・環境保全のための方策を考える。 ・消費者問題について、事例をあげて考察する。 ・現代の社会保障の課題について考察する。 ・富山県の友好提携の動きを理解する。 ・富山県のブラジル移民を理解する。
3	第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 現代に生きる倫理  第3編 ※郷土史	1 國際経済のしくみと貿易の拡大 2 國際経済の動向 3 発展途上国の経済と南北問題 4 國際協調と日本の役割 1 豊かな人生を求めて 2 日本の伝統的なものの考え方 3 西洋の自然観と人間観 4 私たちの課題 ケーススタディ①②③ ⑤富山の風土 ⑥富山の年中行事	・貿易の意義、円高・円安の生じる理由を考える。 ・貿易摩擦について、具体的な事例をあげて考える。 ・発展途上国のかかえている問題を理解する。 ・国際経済の中での日本の役割について考える。 ・いかに人生を豊かに生きるかを多角的に考える。 ・日本の伝統意識を考察する。 ・西洋思想を図版や原典資料をもとに思索できる。 ・偏見をなくす努力の必要性を理解できる。 ・税・貧困問題・人口問題を深く探求できる。 ・富山の風土を理解する。 ・富山の年中行事を理解する。
評価	・広い視野にたって、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、人間としてのあり方生き方について自覚し、民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な事項を理解できたか。 ・提出物・考查・授業への取り組み等を総合的に評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	2年 文系	2	高等学校 倫理 改訂版 (第一学習社)	最新図説 倫理 (浜島書店) 補助教材 ふるさと富山
科目の概要と目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方・生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1章 青年期の課題 と自己形成	1 よく生きることを求めて 2 青年期の課題 3 自己の探求 4 現代の青年期	・青年期の特徴について理解し、青年期の課題に意欲的に取り組もうとする態度を身につけることができる。
	第2章 人間としての 自覚	1 ギリシャの思想 2 キリスト教 3 イスラーム 4 仏教 5 中国の思想	・ギリシャの思想を理解できる。 ・キリスト教を理解できる。 ・イスラームを理解できる。 ・仏教を理解できる。 ・中国の思想を理解できる。
2	※郷土史	①戦後の民主化 ②高度経済成長と富山	・戦後の民主化を理解する。 ・富山の高度経済成長を理解する。
	第3章 国際社会に生 きる日本人と しての自覚	1 日本の風土と伝統 2 外来思想の受容 3 町人意識のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い	・日本の風土と伝統を理解できる。 ・外来思想の受容を理解できる。 ・町人意識のめざめと庶民思想を理解できる。 ・西洋思想との出会いを理解できる。
3	第4章 現代に生きる 人間の倫理	1 人間の尊厳 2 近代の科学革命と自然観 3 自由で平等な社会の実現	・人間の尊厳について理解できる。 ・近代の科学革命と自然観について理解できる。 ・自由で平等な社会の実現について理解できる。
	※郷土史	③富山県の友好提携の動き ④富山県のブラジル移民	・富山県の友好提携の動きを理解する。 ・富山県のブラジル移民を理解する。
	第5章 現代の諸課題 と倫理	4 人間性の回復と主体性の確立 5 現代の思想と人間像 6 生命への畏敬と社会参加	・人間性の回復と主体性の確立について理解できる。 ・現代の思想と人間像について理解できる。 ・生命への畏敬と社会奉仕について理解できる。
		1 生命の問題と倫理課題 2 環境の問題と倫理課題 3 家族・地域社会と倫理課題 4 情報社会と倫理課題 5 宗教・文化と倫理課題 6 国際平和と人類の福祉	・「生命の問題と倫理課題」について探求できる。 ・「環境の問題と倫理課題」について探求できる。 ・「家族・地域社会と倫理課題」について探求できる。 ・「情報社会と倫理課題」について探求できる。 ・「宗教・文化と倫理課題」について探求できる。 ・「国際平和と人類の福祉」について探求できる。
	※郷土史	⑤富山の風土 ⑥富山の年中行事	・富山の風土を理解する。 ・富山の年中行事を理解する。
評価	・広い視野にたち、倫理について、多角的・多面的・専門的に理解できたか。 ・授業への取り組み方（課題提出）・定期考查・課題テストを総合的に評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・化学基礎	2学年 理情系	2単位	新版化学基礎 新訂版	アクセスノート化学基礎 他
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもつて観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1章 物質の構成 物質の探究	物質の種類と性質 物質と元素 物質の三態と熱運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質には純物質と混合物があることを学ぶ。</li> <li>混合物から純物質を得る分離・精製には種々の方法があることを理解する。</li> <li>物質には固体・液体・気体の三つの状態があることを確認し、相互の変化は熱の出入りによる粒子の熱運動が元になっていることを理解する。</li> <li>熱運動がなくなる温度を0度とする、絶対温度の定義を学ぶ。</li> <li>物質は種々の元素から成り立っていること、元素は元素記号で表されることを理解する。物質を構成する元素の種類によって、単体と化合物に分けられること、同じ元素からなる単体には性質が異なる同素体をもつものがあることを併せて理解する。</li> <li>成分元素の検出方法を学ぶ。</li> </ul>
	物質の構成粒子	原子の構造 イオン 周期表	
2	第2章 物質と化学結合 イオン結合 共有結合と分子間力 金属結合 化学結合と物質	イオン結合とイオン結晶 共有結合と分子間力 金属結合と金属結晶 化学結合と身の周りの物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質を理解する基礎知識として、物質を構成する基礎的な粒子である原子について学ぶ。また、原子から生じるイオンや原子が種々の方法で結合した物質について、その構造や表し方、それらの関係を理解する。</li> </ul>
	第3章 物質の変化 物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の質量はきわめて小さいため、原子量という概念によって異なる元素の原子の質量が比較し易くなることを理解する。また、原子量を元に分子量や式量が定義されていることを学ぶ。</li> <li>物質量(モル)の概念を理解する。</li> <li>溶液の濃度について、パーセント濃度やモル濃度の定義を学び、扱いに慣れる。</li> <li>化学反応式の係数と物質量との関係について理解する。</li> </ul>
3	酸と塩基	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基の反応が水素イオンの授受により統一的に説明できることを理解する。</li> <li>水は一部が電離していること、水溶液の酸性や塩基性の程度をpHにより比較できることを理解する。</li> <li>電子の授受に注目し、酸化数を元に酸化還元反応を説明できるようになる。</li> <li>代表的な酸化剤と還元剤に触れ、その作用や利用について学ぶ。</li> </ul>
	酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応 酸化還元反応の利用	
3	(3学期より週3単位で化学もしくは情報化学を実施)		
評価	定期考查・実験レポート・小テスト・提出課題・授業態度などから総合的に判断して評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・化学基礎	2学年 文系	2単位	新版化学基礎 新訂版	アクセスノート化学基礎 他
科目的概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもつて観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1章 物質の構成 物質の探究  物質の構成粒子	物質の種類と性質 物質と元素 物質の三態と熱運動  原子の構造 イオン 周期表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質は純物質と混合物とに分類できることを理解する。</li> <li>・混合物から純物質を得る分離・精製には種々の方法があることを理解する。</li> <li>・物質には固体・液体・気体の三つの状態があることを確認し、相互の変化は熱の出入りによる粒子の熱運動が元になっていることを理解する。</li> <li>・熱運動がなくなる温度を0度とする、絶対温度の定義を学ぶ。</li> <li>・物質は種々の元素から構成されていること、元素は元素記号で表されることを理解する。構成する元素の種類によって物質が単体と化合物に分類されること、同じ元素からなる单体には性質が異なる同素体をもつものがあることを併せて理解する。</li> </ul>
2	第2章 物質と化学結合 イオン結合 共有結合と分子間力 金属結合 化学結合と物質  第3章 物質の変化 物質量と化学反応式	イオン結合とイオン結晶 共有結合と分子間力 金属結合と金属結晶 化学結合と身の周りの物質  原子量・分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質を構成する基礎的な粒子である原子と、原子や原子から生じるイオン種々の方法で結合した物質について、その構造や表し方、それらの関係を学ぶ。</li> <li>・原子の質量は極めて小さいため、原子量という概念によって異なる元素の原子の相対的な質量が比較し易くなること、原子量を元に分子量や式量が定義されていることを学ぶ。</li> <li>・物質量(モル)の概念を理解する。</li> <li>・溶液の濃度について、パーセント濃度やモル濃度の定義を学び、扱いに慣れる。</li> <li>・化学反応式の係数と物質量との関係について理解する。</li> </ul>
3	酸と塩基  酸化還元反応	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩  酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応 酸化還元反応の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸と塩基の反応が水素イオンの授受により統一的に説明できることを理解する。</li> <li>・水はごく一部が電離していること、水溶液の酸性や塩基性の程度をpHを用いて比較できることを理解する。</li> <li>・電子の授受に注目し、酸化数を用いて酸化還元の程度を判断することができる。</li> <li>・代表的な酸化剤と還元剤について、その作用や用途について学ぶ。</li> </ul>
評価	定期考查・実験レポート・小テスト・提出課題・授業態度などから総合的に判断して評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	2	2	現代高等保健体育	ステップアップ高校スポーツ 2021 現代高等保健体育ノート
科目の概要と目標	各種の運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようとする。また、体調を整え体力の向上を図り、公正・協力・責任・参画などの態度を育て、生涯を通じて豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	体づくり運動	・初心者向け ・基礎体力づくり	・体育施設や授業の進め方・内容を知る。 ・集団の中で規律ある行動をとる態度を養う。 ・体育大会に備え、行進や体操を通じ、集団で協力し、自己の役割を考える意識を高める。 ・体づくり運動は、年間を通して適切な時期に、時数として10時間確保し実施する。 ・体ほぐしや体づくり運動を中心とした体力の向上を図り、運動やスポーツの必要性を理解する。 ・学校周辺のランニングコースを走り、自分に妥協しない強い精神力を養う。 ・走運動を通して瞬発力の向上を図りながら、効率よくバトンの受け渡しを行い、仲間と協力する態度を養う。 ・哀切感に満ちた旋律に合わせて表現する。
		・長距離走	
		・短距離走・リレー	
	ダンス 選択ⅡA	・越中おわら節 球技 ・サッカー（男） ・バレー（女） ・スポーツの技術と技能、技能の上達過程と練習	・球技における基本的な技術を身につけ、攻撃と守備のフォーメーションを理解する。
			・技術と技能の違いや技能の発揮の仕方について理解する。 ・技能がどのようなステップを経て上達するか理解する。
	2	・サーキットトレーニング	・体ほぐしや体づくりを中心とした体力の早期回復を図る。
		・長距離走	・学校周辺のランニングコースを走り、自分に妥協しない強い精神力を養う。
		・サッカー（男） ・バレー（女） ・器械運動Ⅱ	・状況に応じたボール操作と連携した動きによる攻防を開拓することができるようになる。 ・器械運動Ⅱではマット運動を取り扱い、いくつかの技を組み合わせ、滑らかに行うことできる。
		・球技	・選択種目におけるルールと審判法を理解し、試合運営を含めてゲームを楽しむ。
		・武道	・武道においては、相手の多様な動きに応じた基本動作から得意技を用いて相手の構えを崩し仕掛けたり応じたりするなどの攻防を開拓する。
		・ダンス	・ダンスにおいては、ダンスを創作する過程で個や群を利用して、作品を創り発表する。
		・技能と体力、体力トレーニング	・スポーツの技術と体力の関係について学ぶ。 ・目的に応じたトレーニング方法を学ぶ。 ・技能と体力の関係について理解する。 ・目的に応じた様々なトレーニングの方法を理解する。
		・サーキットトレーニング	・体ほぐし、体づくりを中心に行い、休暇中に低下した体力の早期回復を図る。
		球技（男女） ・バスケットボール	・ルールと審判法を理解してゲームを楽しむ。
		・運動・スポーツにおける安全の確保	・状況に応じたボール操作と連携した動きによる攻防を開拓することができるようになる。 ・スポーツや運動を安全に行うことができる環境について理解する。
評価	各種目標に「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」を総合的に判断する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	2	1	現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート
科目の概要と目標	時代の流れの中で、健康自体のとらえ方や健康のために人や社会に望まれることも変化してきている。そのことをとらえ、現代の健康問題や新しい時代の健康のあり方などについて学習する。			

学期	單元	学習内容	到達度目標
1	生涯を通じる健康	1 思春期と健康 2 性への関心・欲求と性行動 3 妊娠・出産と健康 4 避妊法と人工妊娠中絶 5 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>思春期における心身の発達や健康問題について理解する。</li> <li>男女の性意識について理解し、性情報への適切な対処について学ぶ。</li> <li>受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解する。</li> <li>家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について理解する。</li> <li>心身の発達と結婚生活の関係を理解し、結婚生活を健康的に送るための必要な考え方や行動を理解する。</li> </ul>
2	生涯を通じる健康  社会生活と健康	6 中高年期と健康 7 医薬品とその活用 8 医療サービスとその活用 9 保健サービスとその活用 10 さまざまな保健活動や対策 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壤汚染と健康 3 環境汚染を防ぐ取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>加齢に伴う心身の変化について理科し、中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて学ぶ。</li> <li>医薬品の正しい使用法について学びその安全性を守る取り組みについて理解する。</li> <li>医療機関の役割について理解し、医療サービスの適切な活用について学ぶ。</li> <li>保健行政の役割と保健サービスの活用について学ぶ。</li> <li>民間機関・国際機関などの保健活動や対策について理解する。</li> <li>大気汚染の原因とその健康影響について学ぶ。</li> <li>水質汚濁や土壤汚染の原因とその健康への影響について学ぶ。</li> <li>環境汚染の特徴を学び、それを防ぐための取り組みについて理解する。</li> </ul>
3	社会生活と健康	4ごみの処理と上下水道の整備 5食品の安全を守る活動 6働くことと健康 7働く人の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理の現状と課題について学ぶ。安全で質の良い水の確保の仕組みと課題を学ぶ。</li> <li>食品の安全対策について学ぶ。また食品の安全のためには、行政・生産者・製造者・消費者にそれぞれの役割があることを理解する。</li> <li>働く人の健康問題の変化と労働災害の予防について理解する。</li> <li>職場の健康増進対策について学ぶ。また、余暇の大切さと活用の仕方について考える。</li> </ul>
評価	各学期1回の定期考查（期末考查・学年末考查）、ノート提出状況、授業態度などから評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭基礎	2学年	2	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	とやまの高校生ライフシカイド —自分の未来を描こう— 社会への扉
科目の概要と目標	生活者としての自立をはかるための基礎的な知識・技術を、実験・実習を通して体験させ、家庭生活の充実・向上をはかる能力と実践的な態度を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	ガイダンス 人とかかわって 生きる	ガイダンス 自分らしい生き方と家族 自分を見つめる 共に生きる人生・家族 家族に関する法律 子どもとかかわる 子どもを知る 発達のすばらしさ 親になることを考えよう すこやかに育つ環境 保育園訪問 訪問時のワッペン製作 食生活をつくる 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科を学ぶ目的や内容、授業方針を知る。</li> <li>・自分らしく生きるために、目標をもち、意志決定を自分で行うことの大切さに気づく。</li> <li>・現代家族の特徴や機能の変化、生活に関連する基本的な法律を知る。</li> <li>・子どもの特性を知り、子育ての意義について考える。</li> <li>・赤ちゃん人形を用いての授業や、視聴覚教材の利用により、赤ちゃんの存在を体験する。</li> <li>・保育実習での子供との触れ合いから学ぶ。</li> <li>・自分の食生活を点検し、食生活の問題点に気づき、食べることの意義を知る</li> <li>・栄養素の種類について知る。</li> <li>・ホームプロの課題を見つけ取り組む</li> </ul>
2	生活をつくる	食生活をつくる 食品の選び方と安全 食事の計画と調理 これからの中生活を考える 衣生活をつくる 人と衣服のかかわり 衣服の素材を見てみよう 衣生活の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロ作品を完成し提出する。</li> <li>・バランスのとれた食事を具体的に考えられる。</li> <li>・自立するために、必要な調理技術を体得する。</li> <li>・食の安全の知識と環境への配慮を身につける。</li> <li>・衣服の役割について考え、目的に合った被服の選択ができるようになる。</li> <li>・自分の衣服や繊維製品の組成表示や取り扱い表示を知り、被服管理を実践していく力を身につける。</li> </ul>
3	消費者として 自立する  人とかかわって 生きる	消費者行動を考える 消費行動と意思決定 社会の変化と消費生活 消費者の権利と責任 経済的に自立する 経済のしくみを知る ライフステージと 経済計画 高齢者とかかわり 高齢社会に生きる 私たちの暮らし 高齢者を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的自立と職業設計の重要性について知り、自分の将来につなげる。</li> <li>・収入と支出の実態を知り、収入を計画的に使えるようになる。</li> <li>・契約、消費者信用、問題の多い販売方法などを具体的に理解し、主体的に適切な判断ができるようになる。</li> <li>・自分たちの生活に福祉がどのように関わっているかを知り、活用できるようになる。</li> <li>・社会においてお互いが支え合って生活することの重要性を知り、社会に暮らす一員として、自分にできることを考えよう。</li> </ul>
評価	定期考查成績(年3回)、ホームプロジェクトの内容や発表、実習におけるレポート、作品評価、レポートの提出状況、授業態度なども加味して評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史B	3年文系 (選択)	4	日本史B(実教出版)	新詳日本史(浜島書店) ゼミナール日本史(浜島書店) 日本史重要語句Check List(啓隆社)
科目の概要と目標	・近世から現代までの日本の歴史の展開を、国際関係の中で多角的に理解させる。 ・各時代の政治・経済・社会・文化の特質を体系的に理解させるとともに、歴史的な見方や考え方を培う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	7章 幕藩体制の展開と近世の文化 8章 幕藩体制の動搖と文化の成熟	・近世の生活と文化 ・幕府政治の転換 ・経済の発展 ・学芸の発展と元禄文化	・幕藩支配体制の性格や特徴・具体的な政策を整理し、文治政策への転換の背景を理解できる。 ・農業や諸産業の発達に伴う経済・社会体制の発展を体系的に理解できる。 ・元禄文化の特徴・内容を理解できる。
	9章 近世への転換	・幕藩体制の動搖と幕政の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・江戸中・後期の文化 ・開国	・幕藩体制が動搖した背景を踏まえ、改革や諸政策の内容を整理・理解できる。 ・化政文化の特徴・内容を理解できる。 ・開国による様々な政治的・経済的混乱や影響、幕府の滅亡に到る過程を整理・理解できる。
	10章 近代国家の形成	・明治維新 ・四民平等と富国強兵 ・初期の外交と国内政治 ・文明開化 ・民権運動の展開 ・立憲政治への道	・新政府の近代化に向けた諸政策の内容や意義を整理・理解できる。 ・西洋文化の受容の概要を理解できる。 ・自由民権運動の高まりの背景と立憲体制樹立までの過程を整理・理解できる。
		・初期議会と日清戦争 ・政党の進出と日露戦争 ・産業革命と社会の変化 ・近代文化の形成と展開	・条約改正、日清・日露戦争の経過を踏まえて当時の国際関係の推移を考察・理解できる。 ・近代産業の育成の過程と、それにともなう国内の社会的・経済的影響を理解できる。 ・明治期文化の特徴・内容を理解できる。
2	11章 両大戦間の日本と市民文化	・第一次世界大戦 ・大戦後の内外環境 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開	・大正期の国内政治・経済の展開について整理・理解できるとともに、当時の国際関係について日本の動きと欧米の対応を軸に理解できる。 ・大正モクラシーによる大衆の政治意識高揚とこれに伴う、大衆文化の内容を理解できる。
	12章 十五年戦争と日本	・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争	・国内の慢性的不況と世界恐慌による経済危機の状況を把握し、その克服を主張しながら軍部が台頭し、中国・欧米との対立を深めつつアジア・太平洋戦争に至る過程を整理・理解できる。 ・戦争に伴う国民生活の変化や、アジア諸国に対して与えた影響について理解できる。
	13章 現代の日本と新しい文化	・占領と民主改革 ・サンフランシスコ講和会議と安保体制 ・高度経済成長下の日本 ・経済大国日本と国民生活 ・世界史の転換と日本	・連合国による対日占領体制や、民主化のための諸改革の内容、占領政策の転換や戦後日本の独立回復から国際社会への復帰までの過程を、新たな世界情勢の変化の中で理解できる。 ・独立回復後から現在までの国内の政治・経済・社会・外交関係の推移を、国際情勢の動向を踏まえて理解できる。
3	問題演習		・学習内容を体系的に整理し、理解できる。
	問題演習		・学習内容を体系的に整理し、理解できる。
	評価	<内容> 日本史の基本的事項と歴史の流れを、総合的・多角的に整理・理解できたか。 <方法> 授業態度、定期考査、本時の確認、課題の提出状況などを総合的に評価する。	

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史 地理 B	3年文系 (選択)	4	新詳地理 B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	新詳地理資料 COMPLETE2021(帝国書院)
科目の概要と目標	現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業  3章 人口、村落・都市  4章 生活文化、民族・宗教	6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信 8節 現代世界の貿易と経済  1節 世界の人口 2節 人口問題  3節 村落と都市 4節 都市・居住問題  1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代社会の国家 4節 民族・領土問題	・各工業や工業地域の特色、交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大、貿易に関する用語や経済圏の組織、世界の貿易の特色や動向などについて、その知識を身につけている。 ・世界人口の分布と動態、人口構成の特徴と人口転換のしくみ、人口問題の実態を理解し、その知識を身につけている。 ・村落と都市の立地、発達、機能や日本の都市の特徴、都市・居住問題の特徴や、解決への道筋について理解し、その知識を身につけている。 ・衣食住の分布や地域的差異の特徴、民族・宗教が生活とどのようにかかわっているか、世界各地の民族・宗教や領土に関する問題を理解し、その知識を身につけている。
2	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域  3章 現代世界と日本	1節 地域区分とは何か  1節 日本が抱える地理的な諸課題 2節 日本の抱える課題の追究	・地域にはどのような概念があるか、地域区分にはどのような方法があるかを理解し、その知識を身につけている。 ・各地域の自然の特徴、社会の歴史的背景をふまえた地域の変容、産業の発展や諸課題などの地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。 ・安定成長期を迎えた日本の特色や地理的な諸課題を理解し、その知識を身につけている。
3	問題演習	既存のテキストやワーク、マーク式総合問題演習を使用した演習	・演習量の6割を正解できる。
評価	地理的知識・情報に対して、単に事実を知っているということだけでなくそれぞれの背景や関係性を捉え、「地理的思考力」「地理的観察力」「地理的分析力」が身に付いたかを授業への取り組み、課題の提出、課題テスト、定期考査、外部テストを通じて総合的に評価する。		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・政治・経済	3年文系	2	高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社)	最新図説 政経 (浜島書店)
科目的概要と目標	自由・権利と責任・義務、人間の尊厳など現代の民主政治における個人と社会の関わりについて理解し、世論形成と国民の政治参加の意義を理解させる。国際平和や国際協力の必要性を認識し、日本および自らの果たす役割について理解させる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本	1 政治と法の機能 2 人権保障と法の支配 3 議会制民主主義と世界の政治体制 4 日本国憲法の基本原理 5 平和主義と自衛隊 6 基本人権の保障と新しい人権 7 国会の組織と立法 8 内閣の機構と行政 9 裁判所の機能と司法制度 10 地方自治制度と住民の権利 11 政党政治と選挙制度 12 民主政治における世論の役割 1 國際社会と国際法 2 國際連合の組織と役割 3 國際政治の動向 4 國際紛争と難民問題 5 軍備管理と軍縮 6 日本の外交と国際平和への役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治と法の機能について理解できる。</li> <li>・基本的人権について理解できる。</li> <li>・議会制民主主義と世界の政治体制を理解できる。</li> <li>・憲法の基本原理について理解できる。</li> <li>・平和主義と自衛隊を理解できる。</li> <li>・基本的人権の大切さを理解できる。</li> <li>・国会の機能について理解できる。</li> <li>・内閣の機能について理解できる。</li> <li>・裁判所の機能について理解できる。</li> <li>・地方自治制度について理解できる。</li> <li>・政党政治と選挙について理解できる。</li> <li>・望ましい世論の形成の仕方について理解できる。</li> <li>・国際法について理解できる。</li> <li>・国際平和に果たす国際連合の役割を理解できる。</li> <li>・国際政治の動向について理解できる。</li> <li>・国際紛争の原因を理解できる。</li> <li>・軍備管理と軍縮について理解できる。</li> <li>・日本の外交と国際平和への役割を理解できる。</li> </ul>
2	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済 第3編 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	1 経済社会の発展 2 経済主体と経済活動 3 市場経済の機能と限界 4 経済成長と景気変動 5 財政のしくみとはたらき 6 金融のしくみとはたらき 7 物価の動き 8 日本経済の歩み 9 中小企業の地位と役割 10 農業の現状と課題 11 消費者問題 12 高度情報社会の進展と課題 13 労働問題 14 社会保障制度の充実 15 環境保全と資源・エネルギー問題 1 國際經濟のしくみ 2 國際協調と國際經濟機關の役割 3 地域的經濟統合 4 グローバル化する經濟 5 南北問題と日本の役割 1 少子高齢社会と社会保障 2 地域社会の変貌と住民生活 3 雇用と労働をめぐる問題 4 産業構造の変化と中小企業 5 農業と食料問題 1 地球環境と資源・エネルギー問題 2 國際經濟格差の是正と国際協力 3 人種・民族問題と地域紛争 4 国際社会における日本の立場と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義の発展と社会主義の変容を理解する。</li> <li>・経済主体と経済活動を理解する。</li> <li>・市場経済の機能と限界を理解する。</li> <li>・経済成長と景気変動を理解する。</li> <li>・財政のしくみ・はたらきを理解する。</li> <li>・資金の循環と金融機関のはたらきを理解する。</li> <li>・物価の動きを理解する。</li> <li>・日本経済の歩みを理解する。</li> <li>・中小企業の地位と役割を理解する。</li> <li>・日本の農業の現状・課題を理解する。</li> <li>・消費者問題を理解する。</li> <li>・高度情報社会の課題を考察する。</li> <li>・労働問題について理解する。</li> <li>・社会保障制度の充実を理解する。</li> <li>・環境保全と資源・エネルギー問題を理解する。</li> <li>・国際經濟のしくみを理解する。</li> <li>・国際協調と国際經濟機關の役割を理解する。</li> <li>・地域的經濟統合について理解する。</li> <li>・グローバル化する經濟について理解する。</li> <li>・南北問題と日本の役割について理解する。</li> <li>・我が国で差し迫っている今後の各課題について、真剣に考えることができる。</li> <li>・各課題について、次の世代のために早急な解決が必要なことを理解できる。</li> <li>・各課題について、現実の国際情勢をふまえ、今後日本が国際社会で果たすべき役割について考えることができる。</li> </ul>
3	問題演習	(共通テストに向けて)	・全分野についてもれなく演習し、理解できる。
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い視野にたち、政治経済について、多角的・多面的・専門的に理解できたか。</li> <li>・授業への取り組み方（課題提出）・定期考查・課題テストを総合的に評価する。</li> </ul>		

# 富山県立大門高等学校

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	3	2	最新高等保健体育	ステップアップ高校スポーツ2020 最新高等保健体育ノート
科目の概要と目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようになるとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			

学期	単元	学習内容	到達度目標
1	体つくり運動 陸上競技Ⅰ 選択ⅢA 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リエンテーション</li> <li>・集団行動</li> <li>・基礎体力づくり</li> <li>・長距離走</li> <li>球技（男女）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール</li> <li>・サッカー</li> <li>・テニス</li> <li>・ソフトボール</li> </ul> </li> <li>・豊かなスポーツライフの設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の進め方・内容を知る。</li> <li>・体育大会に備え、行進、体操、フォークダンスを集団演技として捉え、主体的に取り組む能力を養う。</li> <li>・体つくり運動は、年間を通して適切な時期に時数として10時間を確保し実施する。</li> <li>・ランニングや体ほぐし運動を中心とした体力の向上を図り、運動やスポーツの必要性を理解する。</li> <li>・陸上競技の走運動を通じて、持久的能力の向上を図る。</li> <li>・学校周辺のランニングコースを走り、自分に妥協しない強い精神力を養う。</li> <li>・種目ごとに、準備運動や授業計画を作成し計画的に運営する能力を養う。</li> <li>・ゲームを中心にグループ学習を実践し、個人的技能及び集団的技能を習得する。</li> <li>・ゲームでは個人的・集団的技能に応じて作戦を立て、より質の高いプレーができるようになる。</li> <li>・ルールと審判法を理解する。</li> <li>・社会におけるスポーツの役割について学ぶ。</li> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツについて学ぶ。</li> </ul>
2	体つくり運動 陸上競技Ⅱ 選択ⅢA 選択ⅢB 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サキットトレーニング</li> <li>・長距離走</li> <li>・選択ⅢAと同じ</li> <li>球技（男女）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・サッカー</li> <li>・テニス</li> </ul> </li> <li>・豊かなスポーツライフの設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしや体つくりを中心に、休暇中に低下した体力の早期回復を図る。</li> <li>・学校周辺のランニングコースを走り、自分に妥協しない強い精神力を養う。</li> <li>・選択ⅢAと同じ</li> <li>・ゲームを中心にグループ学習を実践する。</li> <li>・個人及びチーム課題の解決を目指して計画的に練習を行う。</li> <li>・ゲームでは個人的・集団的技能に応じて作戦を工夫してより質の高いプレーができるようになる。</li> <li>・日本のスポーツ振興について学ぶ。</li> </ul>
3	選択ⅢB 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択ⅢBと同じ</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択ⅢBと同じ</li> <li>・スポーツと環境保護について学ぶ。</li> </ul>
評価	各種目毎に「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」を総合的に判断する。		